

至誠

1号

2021年3月20日発行

■挨拶 2-3

■山口芸術短期大学 now! 4

新しい校舎と新しい生活様式

新しい授業たち

■しょうびレポート 5

5年に一度の「大同窓会」

同窓会しょうびの活動

■頑張っちょるよ、同窓生! 6-7

■母校への寄贈品のお知らせ 8

寄付のご案内

同窓会役員構成

編集後記

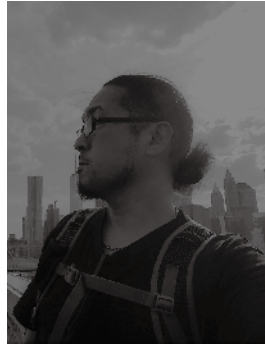
発行

山口芸術短期大学同窓会しょうび

〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号 山口芸術短期大学内しょうび事務局 TEL 083-972-2880 FAX 083-972-4145

挨拶

山口芸術短期大学同窓会
しょうび創立50周年を迎え
新たな50年に向けて



山口芸術短期大学同窓会しょうび
会長 長谷川 貴志
(平成7年度 生活芸術科 造形美術コース卒)
現在 現代美術作家

このような大変大事な節目である期に同窓会会長という立場でご挨拶させて頂けることが大変ありがたいと思いません。

又、今までこの50年牽引していただいた先輩方に多大なる感謝とお礼を申し上げます。本来であれば50年を記念し

多彩なイベントなどを企画しておりましたが世界中を変革させる色んな出来事、色んな事が自粛していく中、我々同窓会役員一同が出した答えが今までなかった会報誌、「至誠」の発行であります。

今まで積み上げてきた歴史50年の蓄積をこれから先の50年に目に見えるカタチで繋げて行くという思いで発行して行こうと考えています。

記念すべき第一号の発行に携わること、又創立52年を迎える母校に誇りを抱いております。

又、会報誌名であります「至誠」は母校の建学の精神である吉田松陰先生の説かれた「至誠」という言葉を私たち同窓会も後世違うカタチで「至誠って?」「同窓会しょうびって?」「芸術って?」という疑問符を同じ学び舎で学んだ同窓生たちと共有し創り伝えていこうという趣旨でもあります。

時代と共に積み上げ、母校で過ごした同窓生達がどのような形で活動し、又活躍している等の情報や紹介、期における学内の一コマや学内の動きなどを発信していくことで少しでも同窓会での記憶と記録に役立てるようお知らせしていければと思います。

時代の流行やニーズ、社会状況により変わりゆく昨今ですが、私たちが母校で過ごした建学の精神「至誠」、根柢の基盤である「芸術」が色んな場面で試されていくはずですよ。

本会報誌は年に一度発行し、その年の学内、同窓会役員の動きをクローズアップしどのような運営を行っているかの見える化の方法の一つでもあります。

デジタル社会において手に取り、目で情報を読み取るといった五感を使う動作は「芸術」に触れ合うそのものであり、カタチとして実在として

残る記憶媒体でもありません。そんなモノづくりを私たちが同窓会自体が運営し、同窓生に寄り添い、母校と共に二人三脚で活動していくことが私たち同窓会役員一同の思いでもあります。

まだまだ不十分ではありませんが同窓生を支援し、同窓生同士のネットワークづくりに役立てるように少しづつ色々なカタチで後世へ伝えられる同窓会づくりを目指していこうと思います。

今後も地域を含め母校、同窓生に必要とされる同窓会であり続けることを願い、役員一同、運営をし、これからの50年を見据えて役員ともども母校と共に同窓会しょうびの発展、活動をいたしますのでご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

理事長からの メッセージ



学校法人宇部学園
理事長 二木 寛夫

会報誌「至誠」創刊おめでと
うございます。

山口芸術短期大学同窓会「し
ょうび」が昨年50周年を迎え、同
窓生の皆様が、社会の様々な分
野で活躍されていることを大変
心強く思います。これまでの本
学教育へのご支援に心からお礼
申し上げます。

本学は明治維新100年を記
念して昭和43年に音楽科、生活
芸術科の二学科で開学し、昭和
49年には幼児教育科を設置して
三学科となりました。平成19年
には保育学科（旧幼児教育科）
専攻科を母体に、建学の精神「至

誠」を同じくする山口学芸大学
を同一敷地内に開学しました。
平成22年には音楽学科と芸術文
化学科（旧生活芸術科）を統合
して芸術表現学科を設置して二
学科となり、今日まで姉妹大学
の山口学芸大学と連携・協力作
りして教育活動をおこなっています。

今年、本学は10年後の2030
年を見据えて、「至誠の心の継承
と、社会変化や多様性への対応」
をテーマとした中長期計画を策
定し、先人の志から生まれた校
風を引き継ぎながら、Social5.0
といわれる社会変化、加えてア
フターコロナの新時代に向けて
新しい風を起こす人材育成をめ
ざし、新たな歩みを始めます。
皆様にはぜひ母校をお訪ねいた
だき、教職員や後輩の皆さんを
ご激励いただければ幸いです。
今後とも地域で輝く大学である
よう教職員一同、志をもって取
り組んでまいります。どうぞ引
き続き本学へのご支援・ご協力
を賜りますようお願い申し上
げてご挨拶いたします。

学長からの メッセージ



山口芸術短期大学
学長 三池 秀敏

山口芸術短期大学同窓生の皆
様、この度同窓会「しょうび」
の会報誌が創刊される運びとな
った事をお聞きしました。一昨
年の2018年に「山口芸術短
期大学創立50周年」を祝い、次
の50年に向けて新たな船出の時
期に会報誌が創刊されることは
素晴らしい事です。多くの同窓
生や在学生との絆を深めるとと
もに、この地に芸術文化の種を
育んで来られた創設者・二木謙
吾氏の志をしっかりと受け継い
でいく場となることと存じま
す。

パンデミックとなった新型コ
ロナウイルス感染症は、世界を
変えてしまいました。このよう
な時代だからこそ、同窓生の皆
さんがこの会報誌創刊を契機に
力強く連携し、困難に打ち勝っ
て欲しいと願っています。天
気の子の副題にもあるように、
「Weathering With You」の
心持を共有し、末永く会報誌が
編纂されることを祈念していま
す。

なお、このパンデミックによ
りグローバルな現代社会の矛盾
が顕在化しています。2050
年までには、三つの危機が到来
すると言われています。気候危
機（地球温暖化）、人口危機（人
口100億の世界）、そして食
糧危機の三つです。今からの10
年が、この三つの危機を避ける
ために努力できる残された期間
です。グローバルな視野を持ち、
皆さんと手を携えてこの困難を
乗り越えて行きましょう。

山口芸術短期大学 now!

新しい校舎と新しい生活様式

近年、全体的な外装、内装が大きく変わった。坂道を上がると新しい校舎が聳え立ち開放感のある吹き抜けが学生を迎える。中に入るとエレベーターや学生が快適に過ごせるような環境の整った空間がある。授業で使う教室も設備がいつそう整い、237人が入れる大講義室、ステージや壁面鏡、暗幕や照明が備えられた模擬遊戯室などがある。学食も新しくなりポリリウムのある新しいメニューが学生を喜ばせている。また、学生に必要な文具から食べ物、アイスクリームの自販機まで設置された売店もある。

現在世界的に蔓延している新型コロナウイルスにより、学生たちの生活も大きく変化している。まず、感染予防対策として学生部、事務部の入り口にサーマルカメラが



サーマルカメラ



手指消毒及び啓発掲示板

設置されている。館内への出入り口や、教室の入り口にはアルコール消毒薬が設置された。そして扉や掲示板などあらゆる箇所に手洗いの徹底や、3密を避ける張り紙がされている。また、教室内では、教壇と学生席の間にアクリル板が設置されており、食堂では席の数を減らし、ソーシャルディスタンスが取れる工夫を施し、感染予防対策が徹底されている。また、食堂以外でも各棟で食事ができる教室を提供し、学生に不便さを感じさせない努力もされている。学内で昼食を取った場合には、利用した教室などを健康観察記録表に記録しているそうだ。



教壇にはアクリル板が設置されている

学生のうごき

近年の入学者、卒業者数の統計

平成30年度	男	女	合計
入学者数	5	143	148
卒業者数	8	146	154
進学者数	0	5	5
就職者数	8	138	146

※令和元年度 5月1日現在

令和元年度	男	女	合計
入学者数	6	128	134
卒業者数	5	135	140
進学者数	0	6	6
就職者数	5	121	126

※令和2年 5月1日現在

令和2年度	男	女	合計
入学者数	7	115	122
卒業者数	※4	※122	※126
進学者数	※2	※3	※5
就職者数	※1	※101	※102

※令和3年 2月末現在

新しい授業たち

近年、各分野で多様化する学生たちのニーズに応えた授業も増えてきている。教養教育分野では「知的財産法入門」という授業が新規開設された。現代社会でもよく問題として取り上げられ、今後クリエ



業者等の出入りも制限している

イターや芸術家が創作するためには必要不可欠な項目だろう。知的財産についての基礎知識を深め、初歩的対応能力の形成を図る授業となっている。

音楽分野ではDAWソフトウェア「Cubase」を使い、音楽制作をする「デスクトップミュージック」という授業がある。打ち込みに必要な基礎知識を身につけながら、ピアノやギターなどの楽器を中心に音楽を制作していく。また技術のみならず、音楽的な表現の追求もしていく。

デザイン分野では「プログラミング」も始まった。「グラフィカルプログラミング言語Scratch」を用いて、ゲームや音楽を制作する。作品制作やプレゼンテーションを通して論理的思考力を身につける。

しょうびレポート

5年に一度の「大同窓会」



会場の様子



食事は学食の味を楽しむことができた



会場の廊下には美術科の同窓生の作品が展示された



同窓会参加者の託児は保育科の同窓生が担当



山口芸術短期大学同窓会しょうび大同窓会



同窓会しょうび長谷川会長挨拶



メインイベント?!ビンゴ大会は大盛り上がり!



会場でのBGMは音楽科の同窓生が担当

山口芸術短期大学は2019年に創立50周年を迎えた。それを記念するかのように、2019年は同窓会しょうびにとつて、5年に一度の「大同窓会」の開催年。これまでは同窓会しょうびの「総会」と呼んでいたが、より多くの同窓生に気軽に集まって欲しい!という役員の熱い想いから、「大同窓会」と称して開催。おかげさまで当日は170名以上の同窓生と、理事長や学長先生をはじめとする教職員の方々にご来場いただいた。

会場は、建設されて間もない校舎の1室。新校舎に初めて足を踏み入れるワクワク感と、会場に施されたバルーンアートの華やかな様子が参加者の心をくすぐる。大同窓会は、同窓会総会、ゲストによる特別講演、親睦会、新卒同窓生によるビンゴ大会という盛り沢山な内容で開催。親睦会での軽食は学食で調理したものを選んで、現在の学食の味を楽しんだ。また、作品展示や会場内の生演奏、小さなお子様の託児も同窓生で担当

し、芸短ならではの大同窓会になった。久しぶりの再会に話は尽きることなく、2時間という短い時間だったが充実した楽しいひと時を過ごされていた。世代を越えた同窓生と交流できる、貴重な機会でもある大同窓会。これからも同窓生の皆様の益々のご活躍を願いつつ、次回の大同窓会にも期待を寄せる役員一同。同窓生の皆さんに元気でおいでできることを楽しみに…。

同窓会

しょうびの活動

私たち「しょうび」は、会員同士の親睦を図り、山口芸術短期大学の発展に力を添えることを目的に活動をしています。

主な活動内容は、

コンサートや展覧会、同窓会などの開催の支援や、役員が学科ごとに企画して開催するしょうび祭。近年は山口芸術短期大学及び山口学芸大学の大学祭に合わせて毎年開催しています。



山口芸術短期大学同窓会しょうび 役員集合写真

しょうび祭の様子



音楽科と保育科のコラボレーション



美術科の参加型モザイクアート

『しょうび』の役員は定期的集まり、様々な活動について話し合っています。

頑張っちよるよ、 同窓生！

夢を追い続ける…

音楽科28期 越智 明子さん

越智さんは「夢を追い続ける子」の意味を込めて付けた『夢子』という名前で音楽活動をしている。

小学3年生の時、耳にしたシヨパンの革命のエチュードに憧れてピアノを始めた。その後30年弱同じ先生に師事している。18歳、ピアノ講師になるという「夢」を持って愛媛県から芸短へ入学。芸短在学中に初めての作曲を先生に褒められる。卒業後、地元で「夢」だったピアノ講師に。27歳の時、親友の結婚式での演奏をきっかけに「夢」を持って独学で作曲を始める。作曲を学ぶため、一時大阪へ。その後、作曲依頼が増え、31歳で「夢子」としての活動を始める。

現在はピアノ講師と並行して、市民劇の劇



Youtube
[Pleasure Music Japan]
Instagram
[yumeko_rock]

中音楽や映画音楽、リハビリ体操の音楽などの幅広い作曲活動、クラシックでのホール演奏はもとより、ライブハウスでの演奏、バンドマンとの共演、学校での講演会や地域のイベント等、幅広いジャンルでの演奏活動をされている。

自身が放つ一音一音に、「夢」と「情熱」を持ち、聴く人の耳と心に、繊細な音色と旋律を刻んでいる。2019年のしょうび大同窓会での演奏もこれまでの人生を物語るような熱い演奏だったのが記憶に鮮明に残っている。コロナ禍で思うように演奏活動ができない中、時代の波に乗り、YouTubeやInstagramでの音楽配信も始めた。演奏を聴いてくれる全ての方に『夢子』の想いが届くように…。

園長先生に聞いてみた！

幼児教育科21期
専攻科幼児教育専攻2期

田良 浩樹さん

①現在の事業内容を教えてください。



育児・子育て支援並びに援助。また、待機児童対策の一環として、山口市に地域型保育事業A型にあたる小規模認可保育園の運営及び管理をしています。

②起業するに当たって大変だったことは何ですか？

開業資金や職員集めもそれなりに大変でしたが、まずは地域の方々に受け入れてもらえるように、信頼を得ることが一番大変だったように思います。次は、たくさんの方々に園の存在と場所を周知してもらうこと。小規模認可保育園ということもあり、大きな園舎も必要ないので、できるだけ国道や市道からしっ

かり見える土地を選んでいきます。その分、費用も多額になりますが、十分に満足しています。

③学生時代はどんな生徒でしたか？

芸短の幼児教育科にとつて初めての男子学生ということもあり、学校からの期待値が高いこともひしひしと感じていました。保育士（この時はまだ保育資格）になるという志は、それなりにありましたが、それ以外に学力が頗る高いわけでもなく、かといってコミュニケーション能力に秀でていたわけでもなく、何となく生徒会副会長には選ばれましたが、全体的には、怠け者グループに所属していたような気がします。

④芸短での一番の思い出は？

中学・高校とずっと音楽関係の部活や同好会に所属していたこともあり、芸短の軽音楽部で過ごす時間が、何よりも楽しかったです。なお現在、同窓会しょうびの会長でもある長谷川さんとは、この軽音楽部で初めて出会い、それからの付き合いになります。

⑤これからの目標を教えてください。

現在は、山口市に山ココモ保育園と中央ココモ保育園の2園を自ら園長を兼任しながら運営・管理に励んでおります。25名の職員にも支えてもらいながら、どうにかこうにかやっている状況ではありますが、市からの要請があれば、市内外にあと2〜3園ほど新規保育園を設立し、運営・管理をしてみたいです。



ココモ保育園の職員は芸短の卒業生もたくさんいます

学科を越えた繋がり

幼児教育科6期 大野 恵子さん

しょうびで音楽科と保育学科の卒業生が出会い意気投合し、保育園・幼稚園でミニコンサートを開催するようになりました。

マリンバ演奏やピアノデュオ、ミュージカルや音楽を奏でながらの絵本の読み聞かせなど、さまざまな音楽を子ども達や保育者にプレゼント！子ども達のキラキラ輝く目とワクワク笑顔に囲まれ、演奏者もワクワク。昨年はS市保育協会のイベントで同窓生3



人を含む8名が演奏し、「心が元気になりました。音楽の力ってすごい！」と、日々頑張っている保育者から嬉しい声がたくさん届きました。

しょうびでの出会いから始まり、子ども達を真ん中に演奏者（音楽科）と保育者（保育学科）がつながるミニコンサートをこれからも長く続けていくことができますように。パワーあふれるしょうび同窓生の音楽がどんどん拡がり、たくさんの方が元気になりますように。●●

創造する、あふれだす、

デザインアート学科42期 吉田 朱里さん



一の坂川沿いの小さなギャラリーにて彼女の個展は開催されていた。大きな絵画から小さな陶芸作品など数多くの作品が並ぶ。彼女はいつもと変わらない明るい表情で一つ一つ丁寧に解説してくれた。美術のことは全く分からない私でも、その世界観に引きこまれ、時間を忘れて鑑賞してしまっ

た。吉田朱里さんはデザインアート学科卒業後、専攻科へ進み、陶芸を専攻した。卒業後も気持ちの赴くまま創作活動を続ける。陶芸だけではなく、絵画も描く。2016年1月、初めての個展「カオス・カオ」を開催。その後2018年「ゆくえのその先」、2019年「Hello Full moon」、2020年「Jours」と年に一度のペースで個展を開催している。展覧会への出展も積極的に挑戦し、入賞もしている。自由美術協会展入選、新人賞受賞。防府市美術展覧会、奨励賞受賞。山口県美術展覧会入選。彼女の創作に対する意欲は芸術の学生時代より増しているように思う。これまで生きてきた中で経験したこと、感じたこと、また、人生そのものを表すかのように、作品の一つ一つに彼女の想いと愛情が込められている。

彼女の作品は実際に目で見て感じて欲しい。これからの彼女に期待を寄せて...



親子で芸短！

幼児教育科6期 大野 恵子さん
保育学科34期 田中 好美さん

芸短で学び、夢と希望を抱き保育現場へ：この三月末に四十年間の保育士生活にピリオドを打ちます。

一、二年目は何もかもが初めてで、わからないことばかり！一日をこなすことで精いっぱい毎日でした。

三年目は二年間の経験を生かし少し余裕が始め、子ども達と過ごす日々を楽しむと感じるようになりました。「せんせいだいき」と子ども達から言われるたび嬉しくなり、毎日「すき」という言葉をたくさんもらい、ハッピーな気持ちになりました。子ども達は私に幸せをくれる王子さまとお姫さまです。

結婚、そして出産し、我が子の子育てと保育の仕事と両立する大変さを感じながらの毎日！我が子を保育園に預け、他人のお子さんを保育することに矛盾を感じ、心の中に辞めたい病が潜み、「やめる？やめない？」と問いかけていた自分がいました。そんな時、研修で同窓生に再会！同じような矛盾を感じながらもこの仕事が好きだという自分達の気持ちを共感し合い、「6つと7つと頑張ろう」と手を握りエールを送り合い、すっきりした心、新たな気持ちで保育現場へ：同窓生との再会が活力になりました。

十年、二十年と経験を重ね、子ども達の笑顔や笑い声からパワーをもらい、歳を重ねても元気でいられることに感謝し始めました。春は風の暖かさを感じ歌を口ずさみながらのんびりお散歩、夏はサンサンと輝く太陽の陽ざしを浴びながらプール遊び、秋は木の葉のじゅうたんに寝転んでぐんぐんぐんぐん、冬は冷たい北風の中鬼ごっこやドッジボール、雪が降れば雪合戦や雪だるま作り...心のポケットには子ども達と遊んだ楽しい思い出があふれています。保育の仕事を楽しんでいる母親の姿を見て

「自分も」と、娘も保育士を目指し芸短へ：先輩と後輩になりました。ランチタイムには学食のうどんと定食をセットで注文するK先生の話をしたり、講義中の先生の声やしぐさのまねをしたり、娘と二人でよく盛り上がりました。そして娘もあこがれの保育現場へ：同じような経験をしている娘に共感したり、時には相談相手になったり、母と娘、先輩と後輩、同窓生という三つの関係をもつ私達はおもしろいこと探しても一緒に楽しんでいます。今年の節分は二人で鬼に変身！楽しくて楽しくて病みつきになりそうです。



新進。ピアニスト

芸術表現学科46期 神木 涼さん

2015年に山口芸術短期大学を卒業、翌年専攻科を修了し、その後直ぐにピアニストとして活動を始める。卒業後すぐの頃、演奏会には山口芸術短期大学の卒業生の先輩方が沢山応援に来てくださり、多くの音楽関係者

との繋がりが演奏の機会をいただく。幼稚園や児童館での演奏会、最近では山口タレント図鑑への登録に誘っていただき、新山口駅に新しくできたストリートピアノでの演奏に呼んでいただいた。また一昨年には、元劇団四季の中井智彦氏と山口芸術短期大学特別講義にて共演し母校での演奏も行った。

現在は、インズバー専属ピアニスト(山口市)、小野田フリークラブ専属ピアニスト、宇部物流サービス混声合唱団伴奏者、ピアノインステラ(宇部市)にて毎月第3土曜日にソロコンサート、片倉温泉くぼた(宇部市)にて毎月第2日曜日にソロコンサートを行う。その他演奏会ゲストに呼んでいただき、山口県内や北九州市で演奏活動を精力的に行っている。

また、同じ山口芸術短期大学卒業の妻と、山口市内にて「すてっぴあ」の教室も開校しており、多くの生徒さんに指導をしている。2021年5月には新しく教室も建つ予定で、より一層後進の指導に力を入れ、山口県の子供達が音楽に触れ学ぶ機会に少しでも関わってあげたい。

現在、新型コロナの影響で、中止になった演奏会も多く、なかなか皆様に演奏を聴いて頂く機会がないが、CDを録音したり、インスタグラム、Youtube等で演奏を発信している。休日のおうち時間などで是非聴いていただきたい。



★ Instagram、Youtube 共に「神木涼」で検索！

母校への寄贈品のお知らせ

今年度から皆様から集めて運営して
います同窓会費の一部を母校に向けて
学内で使用するための備品寄贈費に使
用させていただくこととなりました。
皆様から頂く同窓会費を運営費用と
して明白にかつ有効活用するための見
える化であり、すべての同窓生が山口
芸術短期大学の発展をサポートする活
動支援の一環という意見が多数ありま
した。
その後におきまして昨半夏に役員会
での協議の結果、これを承認。後に役
員会で寄贈品を選定していくこととな
りました。

今後ともこの寄贈支援に致しまして
は同窓生の皆様のご理解頂けますよう
に宜しくお願いしたいと思います。
書中にて事後報告でございますが寄
贈のお知らせいたします。

令和3年3月吉日

敬 具

同窓会 会長 長谷川貴志

本年度はコロナウィルス感染拡大に
応じてサーマルカメラ二台を寄贈させ
ていただきました。

母校の入試、これからのオープン
キャンパスや学内で行われるイベン
ト行事、又学内生活での使用と思い役員
会で厳選し選ばせていただきました。
少しでも安心できる学内生活を過ご
せることを願う学生、教職員の皆様に
活用していただければ幸いです。



学生部と事務部へサーマルカメラを寄贈
非接触型のAI顔認識温度検知のために安心して
登校、来客が行えます。

同窓会役員構成

名誉会長	三池 秀敏 (山口芸術短期大学学長)
会長	長谷川貴志 (生活芸術科 27 期)
副会長	田良 浩樹 (幼児教育科 21 期)
	竹内 美幸 (音楽学科 42 期)
書記	藤本 愛梨 (芸術表現学科 44 期)
	藤原 知明 (芸術表現学科 46 期)
顧問	内山久美子 (生活芸術科 11 期)
幹事	若崎 智子 (生活芸術科 9 期)
	杉本 紀子 (音楽科 12 期)
	大野 恵子 (幼児教育科 6 期)
	上田 智子 (幼児教育科 21 期)
	中尾 優太 (保育学科 32 期)
	田中 好美 (保育学科 34 期)
	服部 憲尚 (音楽学科 41 期)
	森重久美子 (音楽学科 42 期)
	中西 朱里 (デザインアート学科 42 期)
	久富 和也 (保育学科 36 期)
	木村 祥子 (芸術表現学科 44 期)
	岡本 優香 (芸術表現学科 47 期)
	神木 綾乃 (芸術表現学科 47 期)
会計監査	川手 艶子 (音楽科 12 期)
	船木 一頭 (山口芸術短期大学事務部事務課長)
事務局長	吉野 信朗 (山口芸術短期大学学生部学生課長)
会計	狩山美重子 (山口芸術短期大学学生部)
中国支部	金築 敏久 (生活芸術科 9 期)
九州支部	外磯宏二郎 (芸術表現学科 44 期)
四国支部	川村 高弘 (音楽学科 32 期)

寄付のご案内

同窓会しょうびでは、「同窓
会運営」「同窓生支援」「同窓
会情報発信」を定め、母校に
貢献する母校支援活動をさら
に展開して行くこととしてお
ります。
今年も引続き会員の皆様
のご厚情を賜りたく、大変
恐縮でございますが、1口
(1,000円)以上ご寄付
いただければ幸いに存じま
す。
今後とも会員の皆様方の絶大
なるご支援・ご協力を頂きなが
ら同窓会発展のため努力して参
る所存でありますので、何卒宜
しくお願い申し上げます。

※会報誌折込別紙参照
【寄付金の使用目的】
同窓会全体の活動を積極的
に展開することが同窓会の発
展、同窓会会員への支援の向
上に繋がるものでありますの
で、ご寄付の使用目的につい
ては、
「同窓会活動、同窓会運営全
般に充て、更なる会員支援の
向上、同窓会運営の拡充へ有
効に活用」とさせていただきます。
皆様のご理解・ご協力をお
願い申し上げます。

… 同窓会住所 …

754-0032
山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号
山口芸術短期大学内
TEL : 083-972-2880 FAX : 083-972-4145
同窓会しょうび公式ホームページ
<http://shoubi-yca.com/>
同窓会しょうび問い合わせ先
shoubi@yamaguchi-jca.ac.jp
山口芸術短期大学公式ホームページ
<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/>

編集後記

山口芸術短期大学同窓会
しょうびの新しい活動の一つ
として、この会報誌の作成を
スタートさせました。これら
の編集にあたり、皆様には大
変なご迷惑をお掛けしてしま
いそうな予感もしますが、た
くさんの方々のご理解とご協
力を賜りながら、未永く続け
ていきたいと思っております。

この度の発行にあたりまし
ては、ご多用中にもかかわらず
ご協力頂いた諸先生方をは
じめ、卒業生や在学生の皆様
に役員並びに幹事一同心から
感謝致します。